

[京都新聞ウェブサイト(スマートフォン版)]  
参議院選挙インターネット広告の掲載について

● 広告の掲載について

- ・ 私費による政党広告に限ります
- ・ 京都新聞ウェブサイト(スマートフォン版)には、改正公職選挙法に基づいた掲載となります。
- ・ 候補者届出政党・参議院名簿届出政党等と京都府連・滋賀県連の政党の支部のみが掲載できます。
- ・ ただし、政党の支部長の氏名や写真を掲載する場合は表示のうえで制約を設けます。
- ・ 選挙運動期間外でも期間中でも掲載できます。  
選挙運動期間は公示日から投票日前日までとなります。
- ・ 掲載は、契約期間の前日開始、翌日終了を基本とします。
- ・ ただし、選挙運動期間中の投票日前日は午後6時をもって掲載を終了します。
- ・ 掲載に際し、「京都新聞ウェブサイト 広告掲載申込書」の提出が必要となります。
- ・ 掲載希望日の3営業日前までにクリエイティブ画像をご提出ください。

● 京都新聞ウェブサイト(スマートフォン版)での参議院選挙インターネット広告メニュー

- ① 1 s t レクタングル広告 記事面 W300×H250ピクセル
  - ② スマホヘッダー広告 トップ面および記事面 W320×H 50ピクセル
- ※上記広告メニューはいずれも複数スポンサーのローテーションになります。

● 広告料金(消費税込み)※希望掲出期間によって日割計算を適用します

[選挙期間中]

- ① 1 s t レクタングル広告 1カ月10万imp想定=220,000円 ( 7,334円/日)
- ② スマホヘッダー広告 1カ月10万imp想定=330,000円 (11,000円/日)

※投票日前日は午後6時をもって掲載を終了しますが、掲載は1日として計算します。

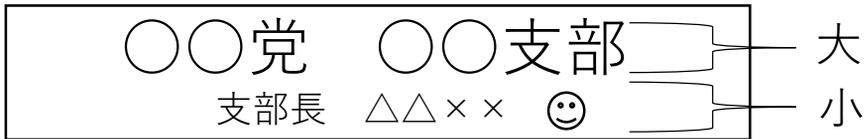
[選挙期間外]

- ① 1 s t レクタングル広告 1カ月10万imp想定=110,000円 ( 3,667円/日)
- ② スマホヘッダー広告 1カ月10万imp想定=165,000円 ( 5,500円/日)

● 広告制作について

- ・ 支部長の氏名と写真を入れる場合は、政党名や支部名よりも小さく表示してください。
- ・ 改正公職選挙法ガイドラインより、個別具体の事情を勘案して判断する場合があります。
- ・ その他、制作については「京都新聞WEB広告ガイド」をご覧ください。

【掲載例】



① 1stレクタングル



② スマホヘッダー

